



喜多流自主公演

平成二十七年十二月

鶴 葛 橋
城 弁 慶
狩 高 大
野 林 島
了 呻 輝
一 二 久

平成27年12月20日(日)

12:00開演(11:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階栈敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。
お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催 公益財団法人 十四世六平太記念財団 協力 喜多流職分会

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813

(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813

(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。
ご予約の際ご案内いたします。

※平成27年度公演の後半5回分は発売中です。
平成28年度前半5回分は平成28年2月1日午前10:00より発売します。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所での飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ・ご観能の際は別途チケットをご予約ください。追加料金はかかりません。ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。年間優待券のみでの観能はできません。ご入場の際は、年間優待券とチケットをご提示いただけます。
- ・ご利用は、平成27年度喜多流自主公演のみ有効です。

自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階栈敷席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。
目黒駅西口よりドレム通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

十二月自主公演番組

能

子方・牛若 大島伊織
シテ連・弁慶の従者 谷友矩

後シテ・前同人 大島輝久
前シテ・弁慶

橋弁慶

アイ・都の者 飯田 豪

大鼓 大倉榮乃助
小鼓 森 貴史 笛 小野寺竜一

後見 塩津哲生
金子匡一

友枝雄太郎 佐藤 章雄
塩津圭介 長島 茂
粟谷浩之 中村 邦生
渡辺康喜 友枝 雄人

狂言

吹取

シテ・何某 野村萬歳

アド・男 深田博治
アド・女 月崎晴夫

休憩(二十分)

能

後シテ・葛城明神 高林呻二
前シテ・里女

葛城

ワキ・山伏 御厨誠吾

大鼓 安福光雄 太鼓 梶谷英樹
小鼓 田邊恭資 笛 一噌庸二

ワキ連・同行 則久英志
梅村昌功

アイ・葛城山麓の者 高野和憲

後見 粟谷幸雄
香川靖嗣

高林昌司 松井 彬
佐々木多門 大村 定
粟谷充雄 粟谷能夫
佐藤 陽 内田成信

休憩(十分)

仕舞

氷室

塩津哲生

地謡

塩津圭介
佐々木多門
友枝雄人
友枝真也

能

後シテ・鶴の霊 狩野了一
前シテ・舟人

鶴

ワキ・旅僧 殿田謙吉

大鼓 大倉栄太郎 太鼓 小寺真佐人
小鼓 森澤勇司 笛 栗林祐輔

アイ・蘆屋の里人 竹山悠樹

後見 友枝昭世
内田安信

地謡

狩野祐一 谷 大作
佐藤寛泰 粟谷明生
友枝真也 出雲康雅
谷友矩 金子敬一郎

— 終了予定 午後四時三十分頃 —

橋弁慶(はしべんけい)

比叡山西塔に住む武藏坊弁慶が、北野天神へ丑の刻詣を済まし、その後十禅寺へ行くこととしていると、従者が反対をする。実は昨日、五条橋へ行く時、蝶や鳥のような早業で橋を通る人に斬りかかる十三才くらいの少年がいたというのだ。弁慶は一度はためらうが、聞き逃がしては笑い者になると、それならばかえって討ち取ってやろうと出掛けて行く。八中入V 明日には鞍馬寺へ登らなくてはならぬ牛若が、今夜ばかりの名残と五条橋で月を眺めて人を待っていると、武装をした弁慶がやってくる。薄衣を被いだ女装の牛若を弁慶は女と思ひ、通り過ぎようとするが、牛若が弁慶の難刀の柄尻を蹴り上げて挑発する。そこから二人の鎧迫り合いが始まる。弁慶は牛若の剣術・秘術に悩まされとうとう降参してしまふ。降参した弁慶が、少年の名を尋ねると源牛若と聞いて、主従の約束を結び、牛若の供をして邸宅へ帰って行った。

(約四十分)

吹取(ふきとり)

清水の観世音から月夜に五条の橋で笛を吹けば妻を授けると告げられた男は、笛が吹けないので、知人に代わりに吹いてほしいと頼む。知人と共に五条の橋に出かけ、笛を吹いてもらうとお告げのとおり、女が現れる。月夜に笛の音。叙情的な趣が、最後はなんとも狂言らしい展開になる。曲中で実際に演者が笛を吹く珍しい演目。(約三十分)

葛城(かずらき)

葛城山に登った山伏が大雪に難渋しているところへ、女が現れ宿を貸す。女は庵に案内をし、火を焚いてもてなす。夜になって山伏が動行を始める。女は自分には三熱の苦しみがあるので祈禱してもらいたいと頼む。不審に思っけて訊を尋ねると、役の行者の岩橋を架けよという命令に背いたため、葛城で縛られて苦しみ続けているといつて消え去る。八中入V 夜に入って動行を続けていると葛城の神が姿を現し、葛で縛られた姿を見せ神楽歌を奏して大和舞を舞う。しかし、夜が明けてきたので見苦しい顔をして岩戸に入ってしまう。

(約一時間二十五分)

鶴(ぬえ)

諸国一見の旅僧が摂津国の蘆屋に着き、里人に宿を頼むが断られる。そこで化け物が出るという洲崎の御堂に泊まることになる。その夜、異様な姿の舟人が空舟に乗って漂着する。僧が名を問うと、灘の塩焼く海人であると言いが、そのうち頼政に退治された鶴の亡魂だと話し、その時の有様を語り舟に乗り消えてゆく。八中入V そこへ蘆屋の里人が様子伺いに来たので、僧は鶴退治の話聞き、読経し申う。すると鶴が現れて供養を感謝し、帝を悩ませたとし頼政に退治されたことや、頼政は恩賞として「獅子王」という剣を下され名声を得たことを話す。そして自分は空舟に押し込められて淀川に流されたと言ひ、救いを求めつつ再び海へ消えていく。

(約一時間十分)

平成二十八年 一月 自主公演番組予告

平成二十八年 一月十日(日) 正午始
十四世喜多六平太記念能楽堂

玉 井 粟谷 明生
鉢 木 長島 茂